

ブックレポート執筆

□所要時間	かけられるだけ時間をかけて書くことが望ましい。
□主なスキル	リーディング、ライティング（英語上級者向け）
□形式	期末レポート(term paper)として各自授業外で書く。
□概要とねらい	
エッセイ・ライティングのルールに沿って、英語で 800 words 程度のブックレポートを書きます。題材は、多読授業で読んだ英語の本の中から選んでもらいます。日本の教育現場では作文指導をきちんとせずに作文を書かせることが往々にしてありますが、ここでは明確なテーマを提示し、細かく書き方を指導した上でレポートを課します。テーマは例えば、選んだ本の主要人物がどういう人物であることを記述する“Describe the main character”、あるいは、学期中に読んだ 3 冊の本の共通点を明らかにする“Three Books of the Year”などが挙げられます。Thesis statement や topic sentence の役割、引用の仕方などをきちんと指導した上で、説得力があり且つオリジナリティ溢れるブックレポートを書かせるのが狙いです。多読授業の集大成として、学期の最後に term paper として課するのがよいでしょう。	
□事前準備（必要な教材、器具など）	
多読授業で読んだ本の中から受講者が自分で選んだ英語の本を使用します。Graded readers でもいいでしょうし、一般読者向けの英書でも構いません。受講者が自分の英語力に見合った本を選んでいるかどうか、教員が確認するとよいでしょう。学生がついつい見栄を張って、英語ではとても読めないような難しい本を選び日本語の翻訳を読んでレポートを書いてくる事例なども見受けられますので、注意が必要です。	
□手順	
<u>Lesson 1（45 分程度）</u> 1. エッセイ・ライティングの基本情報を指導する。エッセイは 3 つの部分(introduction, body, conclusion)から成り立っていること、結論に当たる thesis statement は introduction の最後に置くこと、body paragraph には topic sentence が必要であり、それはパラグラフの最初に置かれることが多いこと、conclusion では thesis statement を繰り返すこと等々。こうしたルールを知っておくと、日本語でレポートを書くときにも役立つことも付け加える。 2. ブックレポートのテーマを発表する。筆者は、春学期：Describe the Main Character（主人公がどういう人物かを、具体例を示しながら説明する）、秋学期：Three Books of the Year（多読授業で読んだすべての英書からベスト 3 を選び、その 3 冊に潜む共通点を明らかにする。例えば、主人公が少年である、必ず誰か重要人物が死ぬ、作者	

がマイノリティである、その3冊を薦めてくれたのが同じ友人である、など。)というテーマでレポートを書かせている。

3. 学期中に読んだ英語の本から1冊(ないし3冊)を選び、その本についてテーマに沿ったブックレポートを書くよう指示する。
4. モデルレポート(教師が書いたものや過去の受講生による優秀レポート)を配布し、イメージをつかませる。

Lesson 2 (45分程度)

5. 組み立てメモ(アウトラインメモ)として、①thesis statement、②各 body paragraph の topic sentence、そして③conclusion に置かれる thesis statement の言い換え、をまず書かせる(これは宿題にするとよい)。教室ではペアやグループになり、お互いの組み立てメモをピアチェックさせる。組み立てメモ(アウトラインメモ)用ワークシートを以下に貼付するので参照のこと。
6. ピアチェックを経て修正したものを提出させ、教師がチェックし、必要があれば修正を提案する。(教師のチェック、修正の提案は学内 ICT を用いて行ってもよいだろう。)

授業外課題として

7. 組み立てメモに沿ってレポートを執筆させ、提出させる。
8. ①構成 60%、②英語 20%、③洞察の独創性・説得性 20%で採点。
9. 採点后、可能であれば講評をフィードバックできるとさらによい。

【学生の反応】

- 本を読んでその本について真剣に考察した。
- 本の理解が深まる。
- 英語でレポートを書いたことが無かったので、苦戦したが良い経験になった。
- 普段しないような本の分析が出来た。

【その他備考】

本活動については、以下の先行研究で言及しているのでご参照ください。

Fukaya, M. (2010). Extensive reading of language learner literature as a step to the pleasure reading of unabridged literature. *Proceedings and Papers 2010 (Liberlit Conference)* Retrieved from <http://www.liberlit.com/new/?p=155>

Cf. Book Report のテーマ例 2 つ (Describe the Main Character、Three Books of the Year) にあ
わせた組み立てメモ (アウトラインメモ) 用ワークシートと構成の図解

【レポートのテーマが Describe the Main Character の場合の組み立てメモ】

Title: 本のタイトル[イタリックにする]	
Subtitle: 人物の名前, その特徴を短いフレーズで	
Name:[ローマ字で氏名]	
Thesis statement (結論)	疑問文にしない。「根拠は 2 (3) つある」だけでも不可
However, …..	
5 spaces 下げる	Body ①
Topic sentence (Thesis statement の根拠①をズバリ述べる)	
5 spaces 下げる	Body ②
Topic sentence (Thesis statement の根拠②をズバリ述べる)	
5 spaces 下げる	Body ③ (Body を二つにする場合は不要)
Topic sentence (Thesis statement の根拠③をズバリ述べる)	
5 spaces 下げる	Conclusion
Restatement (Thesis statement をパラフレーズして繰り返す)	

Active Reading
春学期末ブックレポートの書き方
Describe the main character

Title

- 本のタイトル(イタリック):
- (コロンの後に)選んだ人物の特徴を表すサブタイトルをつける。

Introduction

- Generalな話からspecificな話へという形式を踏むこと。
- Generalからspecificな自分独自の意見への転換には、howeverを使うのが王道。
- 最後のセンテンスがthesis statement=結論=「選んだ人物(だれそれ)は、こういう人物だ、こういう行動を取る(取った)。」

Body paragraph1

- Topic sentence: Thesis statementで述べたことの根拠①を述べる。Be動詞を用いず、Somebody does something.の形で書く。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、選んだ人物についての具体的な描写を引用し、topic sentenceで述べたことを論証する。

Body paragraph2

- Topic sentence: Thesis statementで述べたことの根拠②を述べる。Be動詞を用いず、Somebody does something.の形で書く。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、選んだ人物についての具体的な描写を引用し、topic sentenceで述べたことを論証する。

Body paragraph3

- Topic sentence: Thesis statementで述べたことの根拠③を述べる。Be動詞を用いず、Somebody does something.の形で書く。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、選んだ人物についての具体的な描写を引用し、topic sentenceで述べたことを論証する。

Conclusion

- Restatement: 以上述べてきたことから、選んだ人物(だれそれ)は、こういう人物であるということがわかる。
- Concluding remarks: その人物の存在が作品全体に与えた影響や、その人物が作品を面白く、興味深くしている点などを述べる。つまり、人物についての分析を作品評価につなげる。

【レポートのテーマが Three Books of the Year の場合の組み立てメモ】

Title: Three Books of the Year	
Subtitle: 3冊の共通点を示唆するクールなサブタイトル	
Name:[ローマ字で氏名]	
Thesis statement (結論)	
5 spaces 下げる	Body ①
Topic sentence (1冊目における共通点の提示)	
5 spaces 下げる	Body ②
Topic sentence (2冊目における共通点の提示)	
5 spaces 下げる	Body ③
Topic sentence (3冊目における共通点の提示)	
5 spaces 下げる	Conclusion
Restatement (Thesis statement をパラフレーズして繰り返す)	

Active Reading
秋学期末ブックレポートの書き方
Three Books of the Year

Title

- Three Books of the Year:
- (コロンの後に)3冊の共通点を示す表現

Introduction

- Generalな話からspecificな話へという春学期末レポートの形式を踏襲
- 3冊の本の紹介(タイトル、作者名)
- 1行あらすじ(あらすじは、どこかからコピーしないこと)
- 最後のセンテンスがthesis statement=結論=3冊に共通すること(一つに絞ること!!)

Body paragraph1

- Topic sentence: 1冊目の本において、共通点がここに見られる。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、本の内容を説明したり、引用したりして、topic sentenceで述べたことを論証する。

Body paragraph2

- Topic sentence: 2冊目の本において、共通点がここに見られる。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、本の内容を説明したり、引用したりして、topic sentenceで述べたことを論証する。

Body paragraph3

- Topic sentence: 3冊目の本において、共通点がここに見られる。
- Supporting sentences: Topic sentenceでズバリと言い切ったことを、もう少し詳しく説明する。
- Evidence (quote): 証拠として、本の内容を説明したり、引用したりして、topic sentenceで述べたことを論証する。

Conclusion

- Restatement: 以上述べて来たように、3冊の共通点はこれだと言える。
- Concluding remarks: なぜこの共通点が自分を惹き付けたのか。

(文責：深谷素子)